

# 健康 Q&A



教えていただきました



医学博士  
古嶋 博司

## Q.「降圧剤」とは何でしょうか？

現在、わが国での高血圧者数は、約4,300万人と推定されており、高齢化に伴い、今後ますます増える傾向にあります。血圧は130/80mmHg以下（高齢者では140/90mmHg未満）を目標にしており、場合によっては降圧剤を使用することがあります。降圧剤にはいろいろ種類があり、今回は代表的な降圧剤の特徴を、それぞれ簡単に説明します。

### ①カルシウム拮抗薬：

現在、わが国で最も使用頻度が高い降圧剤。副作用が少ないため、幅広い症例に第一選択で用いられています。数少ない副作用としては、軽度の浮腫と歯肉の肥厚などが見られることがあります。グレープフルーツの摂取には注意が必要です。

### ②アンギオテンシンII受容体拮抗薬 (ARB)

およびACE阻害薬 (ACEI)：

ARBはわが国ではカルシウム拮抗薬に次いで使用頻度が多く、心不全に対する効果や、腎臓保護の作用などもあります。ACEIも同様の効果がありますが、時に空咳を来すこともあります。両薬剤とも妊婦や授乳婦には使用できません。最近、これらの薬剤が新型コロナウイルス感染の重症化につながるのではと一部報道にありましたが、現時点では明確な根拠はないとされています。勝手な服薬中止はせず、必ず主治医に相談しましょう。

### ③利尿薬：

塩分とともに水分を尿として出して血圧を下げる、古くからある薬剤。現在も他の降圧剤と併用して使われています。特に高齢者は脱水などに注意が必要。

### ④β遮断薬：

心臓の機能を抑えて、血圧や脈拍を下げます。狭心症や頻脈性不整脈にも使用されることがあります。気管支喘息の方の服用には注意が必要です。

### ⑤α遮断薬：

血管を拡張させて血圧を下げる、古くから使用されている薬剤。初回投与現象といわれる、起立性低血圧によるめまい、動悸などの症状があるので、今では補助的に使用されています。

上記の薬剤を単独、あるいはいろいろ組み合わせることで血圧の治療をしていきます。降圧剤で何か問題があった場合は、すぐに主治医に相談しましょう。

## 内科・循環器内科 ふるしまクリニック



診療科目 / 内科・循環器内科  
診療時間 / 月・火・木・金曜日 9:00~12:30、15:00~18:00  
水・土曜日 9:00~12:30

休診日 / 日曜、祝日  
所在地 / 中央区姥ヶ山5-6-20  
電話 / 025-257-7070

ふるしまクリニック